

公開講座

名古屋外国語大学オープンカレッジ
教養講座、言語講座

2026年度 春期

開講
期間

2026年 5月7日(木) - 7月31日(金)



名駅キャンパス(サテライト)内 WLALi(ヴラリ)図書室

名古屋外国語大学 名駅キャンパス(サテライト)

講座一覧



■教養講座

番号	科目名	担当者	開講曜限	回数	受講料 (税込)
C1	古代インド思想としての仏教思想 —初期仏教経典を読む—	湯谷 祐三	月曜6限	10回	13,800円
C2	真理と知識の哲学：エピステモロジー入門Ⅰ	上西 晃生	火曜6限	10回	13,800円
C3	ITとAIで変わる英語学習法：SNSと教室での実践活用	原田 邦彦	火曜6限	10回	13,800円
C4	外から日本語の文法を見ると？ —日本語教育文法—	坂本 正	木曜6限	10回	13,800円
C5	ゆっくりとイタリア・ルネサンスを味わう。	桑原 恒和	木曜6限	10回	13,800円
C6	ネム船長の哲学塾「ありのまま」で本当に大丈夫なのか？	根無 一信	金曜5限	10回	13,800円



■言語講座

番号	科目名	担当者	開講曜限	回数	受講料 (税込み)
L1	タイ語 入門	寺田 ダラポン	月曜6限	10回	13,800円
L2	中国語 入門 (1)	周素芬 (シュウ・ソウフン)	月曜6限	10回	13,800円
L3	洋楽ヒットソングで楽しく学ぶリスニング・ 英文解釈・英語圏文化	橋尾 晋平	月曜6限	10回	13,800円
L4	TOEIC® L&R 750点突破対策	矢津 裕子	火曜5限	10回	13,800円
L5	韓国語 入門1	李惠敏 (Lee hyemin)	火曜6限	10回	13,800円
L6	フランス語 入門1	ジェローム・パク	火曜6限	10回	13,800円
L7	少し学ばれた方のイタリア語 初中級	アナスタージャ・ ブンドック	火曜6限	10回	13,800円
L8	英検準1級・2級対策	矢津 裕子	火曜6限	10回	13,800円
L9	From Script to Self「映画のセリフを自分の言葉に」	今井 康貴	水曜6限	10回	13,800円
L10	How to Say It Right: Building Rapport through English Speech Acts	テイラー・ マイズリッシュ	木曜5限	10回	13,800円
L11	中国語 初級 (1)	周素芬 (シュウ・ソウフン)	木曜6限	10回	13,800円
L12	Understanding Identity and Inclusion in English	藤沼 美沙	金曜6限	10回	13,800円
L13	スペイン語 初中級5	中川 智彦	金曜6限	10回	13,800円
L14	始めたばかりのイタリア語 初級	アナスタージャ・ ブンドック	金曜6限	10回	13,800円
L15	タイ語 初中級	寺田 ダラポン	土曜2限	10回	13,800円
L16	ポルトガル語への第一歩：ブラジル文化をことばで感じる	ジアス・ハダマ・ パトリシア	土曜2限	10回	13,800円
L17	読んで学ぶロシアのことばと文化—身近な話題を「ロシア語の記事」からやさしくひもとこう—	杉山 真央	土曜2限	10回	13,800円
L18	Improving Intercultural Communication Skills in English	宇治谷 映子	土曜2限	10回	13,800円
L19	ウクライナ語 入門1	テチャナ・サイエンコ	土曜2限	10回	13,800円

※受講料にテキスト代は含まれません。



古代インド思想としての仏教思想—初期仏教經典を読む—

C1・月曜6限

湯谷 祐三 (10回)

教材：教科書は使わない

①5/11、②5/18、③5/25、④6/1、⑤6/8、⑥6/15、⑦6/22、⑧6/29、⑨7/6、⑩7/13 (予備日：7/27)

◆講師プロフィール

湯谷 祐三 (ユタニ ユウゾウ)
名古屋大学修士 (文学)
名古屋外国語大学非常勤講師
国文学・仏教学

◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

仏教思想はそれ自体の高度な哲学性だけでなく、經典類が漢訳されて漢字文化圏に伝播し影響を与えたという点で、日本人にとって重要な思想となっている。本講では、仏教史の初期に成立したとされる經典群を読み、仏教思想の原初形態を把握し、それがどのように我々の大乘仏教に接続していくのかを考えたい。その際、仏教が古代インドで発生した様々な哲学思想の一つであることに留意し、他の主要な古代インド思想文献と対比して、その異同を明らかにする姿勢をもって臨みたい。

◆講座内容

- 第1回 ブッダのことば (1)
- 第2回 ブッダのことば (2)
- 第3回 真理のことば・感興のことば (1)
- 第4回 真理のことば・感興のことば (2)
- 第5回 仏弟子の告白・尼僧の告白 (1)
- 第6回 仏弟子の告白・尼僧の告白 (2)
- 第7回 神々との対話
- 第8回 悪魔との対話
- 第9回 ブッダ最後の旅
- 第10回 ミリンダ王の問い

※一部変更の場合もあります。

真理と知識の哲学：エピステモロジー入門I

C2・火曜6限

上西 晃生 (10回)

教材：参考書 (購入必須ではない) 西洋哲学史 (理性の運命と可能性) ISBN: 978-4812202234 3300円 (税込)

①5/12、②5/19、③5/26、④6/2、⑤6/9、⑥6/16、⑦6/23、⑧6/30、⑨7/7、⑩7/14 (予備日：7/21)

◆講師プロフィール

上西 晃生 (ウエニシ アキオ)
哲学博士 (PhD. Philosophy) : ブリュッセル自由大学 (ULB)
非常勤講師 (NUFS、慶應義塾大学、豊橋技術科学大学、名古屋経済大学、名古屋製菓専門学校)
哲学 (英語圏認識論/フランス語圏認識論)

◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

哲学は難解な学問であるとされている。しかしどのような意味合いで哲学は難解であるのか。それはおそらく、古代から続く壮大な哲学史を既に前提としているということが理由の一つとして挙げられる。しかし哲学者たちはどのように歴史を紡いで現在まで議論を継続させているのでしょうか。概念や論証を先人たちから借用し、それらを組み合わせただけなのでしょうか。もしそのような借用や組み合わせのみで哲学史が形成されているのであれば、どのように「新しい哲学」は生まれてきたのでしょうか。

本講義では、古代から歴史的に縫いながらも継続された議論を露出させ、そこへ重なり合う概念とその意味の把握に取り組みます。私たちはその骨組みとなる論理的基礎や論証方法などを分類し、明確にすることで初めて哲学の入り口に立つことができます。そして哲学の古典的方法論の導入から「分析哲学」と「フランス哲学」という二つの伝統間の抗争に論点を絞り込むことによって、今日の「認知科学の哲学」における両伝統同士の歩み寄りを目の当たりにすることができることとなります。現代において必要とされるべき哲学について、共に議論しましょう。

◆講座内容

- 第1回 知識一般と科学的知識
- 第2回 アリストテレスの真理と知識 (概念と推論)
- 第3回 ヒュームとカントの真理と知識 (帰納法と演繹)
- 第4回 カントへ至る真理と知識 (認識論の黎明)
- 第5回 フレーゲとラッセルによる真理と分析的知識 (分析哲学と科学哲学 I)
- 第6回 ヴィトゲンシュタインから論理実証的知識へ (分析哲学と科学哲学 II)
- 第7回 社会構成的知識へ至る新しい科学哲学 (分析哲学と科学哲学 III)
- 第8回 フランス認識論の伝統からフランス合理主義へ (フランス認識論 I)
- 第9回 概念の曖昧性とメタ概念 (フランス哲学 II)
- 第10回 知覚と乖離した真理、知識、実在あるいは規範性 (これらの事を可能な限り平明に解説できればと思います)



IT と AI で変わる英語学習法：SNS と教室での実践活用

C3・火曜6限

原田 邦彦 (10回)

教材：教科書は使わない

①5/12、②5/19、③5/26、④6/2、⑤6/9、⑥6/16、⑦6/23、⑧6/30、⑨7/7、⑩7/14 (予備日：7/21)

◆講師プロフィール

原田 邦彦 (ハラダ クニヒコ)
ミズーリ州立大学 学士 (英米文学)
テキサス州立大学 修士 (言語学)
ジョージタウン大学 博士課程中途退学 (言語学)
名古屋外国語大学名誉教授
専門：英語教育学、CALL

◆授業の使用言語

英語・日本語

◆講座の趣旨・目標

本講座は、IT や生成 AI を活用して英語力の向上を目指す文系の大学生、教員、社会人の方を対象とした入門講座です。PC の基本操作ではなく、AI ツール (ChatGPT、Gemini など)、YouTube、学習管理システム (Google Classroom、Moodle)、SNS (Facebook、X、Instagram) といった具体的なツールを実際に使いながら、その活用方法を紹介します。教室や職場での実践方法、指導時の注意点についても議論し、単に知識を得るだけでなく、実際に試行錯誤しながら、ご自身に最適な学習ツールを見つけていくことを目指します。授業ではスマートフォンではなく、ノート PC をご持参ください。

◆講座内容

- 第1回 イントロダクション：AI と IT がもたらす英語学習の変革
— 従来の英語学習と最新の英語学習の比較
- 第2回 生成 AI を活用した英会話・英作文トレーニング
— ChatGPT、Claude、Gemini、NotebookLM
- 第3回 SNS を活用した英語学習の実践
— TikTok、Instagram、X、Facebook
— SNS でよく使われる英語表現
- 第4回 SNS と AI の問題点を英語で考える
— バイアス、誤情報、データプライバシー、政治との関わり
- 第5回 AI を活用した個別学習：Duolingo for Schools
— ゲーミフィケーション (Gamification) と適応型学習 (Adaptive Learning)
- 第6回 AI とコーパスを活用した語彙習得・ペア・グループ学習：Quizlet
— コーパス (Corpus) とコロケーション (Collocation) の活用
- 第7回 LMS (学習管理システム) を活用した英語教育
— LoiloNote、Moodle、Google Classroom
- 第8回 AI を活用した動画・音声教材で英語を学ぶ
— YouTube、TED、NanoBanana、AI 要約・翻訳・小テスト作成ツール
- 第9回 オンライン会議・授業の活用：Zoom・Google Meet
— オンライン会議ツールの特徴と英語学習・教育への応用
— 効果的な英語プレゼンテーションの準備と実施
- 第10回 振り返り：自分が選ぶ IT と AI を活用した英語学習ツール

外から日本語の文法を見ると？—日本語教育文法—

C4・木曜6限

坂本 正 (10回)

教材：教科書は使わない

①5/7、②5/14、③5/21、④5/28、⑤6/4、⑥6/11、⑦6/18、⑧6/25、⑨7/2、⑩7/9 (予備日：7/16)

◆講師プロフィール

坂本 正 (サカモト タダシ)
米国ボストン大学大学院博士 (教育学)
名古屋外国語大学名誉教授
日本語教育学、第二言語習得論

◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

日本語を母語とする人は、子どもの時に知らないうちに、気づいた時は日本語が使えるようになっていて、自分の話すことばだが、ほとんど客観的な意識的な知識を持っていない。どうしてある表現が誤りであるのかというような説明が言葉を使ってできないことが多い。他の言語を母語として、日本語を学ぶ学習者の視点から客観的に言語学的に日本語という言語を見て、日本語という言語はどういう特徴を持った言語なのかを学び、日本語についての客観的な知識を身に付け、よりよい日本語教育や日本語支援に貢献できるような授業にしたい。

◆講座内容

- 第1回 オリエンテーション、自己紹介、「日本語学習者の質問に答えてみよう」
- 第2回 日本語の文法の特徴、日本語教育の用語、動詞の種類(形式上)、二種類の形容詞
- 第3回 動詞の種類(意味上)、人称との関係
- 第4回 動詞に続く形(1)～たい、～られる(可能形)、「て形」の作り方、～ておく、～てみる
- 第5回 動詞に続く形(2)～てしまう、～ている、～てある
- 第6回 授受表現、受身表現
- 第7回 使役表現、使役の受身表現、テンス
- 第8回 アスペクト、類似表現、「こと」と「の」、「ように」と「ために」
- 第9回 助詞「は、が、を、に、で、から」
- 第10回 学習者の誤用から学ぶ日本語の文法

◆自己紹介

1977年から日本語教育の世界に入り、日本語の奥深さを感じました。これまでの日本とアメリカでの日本語教育の経験から教科書にはあまり書いてないようなことをお話しできたらいいなあと思います。日本語教育の経験がある人にとっても初めての人のとつても、実践的で役に立つような日本語教育文法について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。国家資格の登録日本語教員試験を受験される方にも役に立つ内容になっています。目から鱗の瞬間がたくさんあるかと思っています。一緒に日本語の奥深さを楽しみましょう。



ゆっくりとイタリア・ルネサンスを味わう。

C5・木曜6限

桑原 恒和 (10回)

教材：教科書は使わない 必要とされるもの：筆記用具

①5/7、②5/14、③5/21、④5/28、⑤6/4、⑥6/11、⑦6/18、⑧6/25、⑨7/2、⑩7/9 (予備日：7/16)

◆講師プロフィール

桑原 恒和 (クワハラ ツネカズ)
 日本大学芸術学部美術学科卒、日本大学
 芸術学部芸術研究所修了、イタリア・フィ
 レンツェ美術学院 (アカデミア) 卒 ディ
 プロマ (芸術・彫刻) 取得
 名古屋外国語大学、名古屋芸術大学、名
 古屋文化学園保育専門学校、南山エクス
 テンション・カレッジ、星城大学オーブ
 ン・カレッジ 講師
 西洋美術史、イタリア語、児童絵画法



◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

Ciao! イタリアは芸術の国です。そこでは連続的に神業の様な作品を観ることが出来、真に美術鑑賞にどっぷりと浸ることも出来る場所です。そこでこの講座は、これからイタリアへと旅立つ前の予備知識として、ルネサンスの作品を中心に取り上げ、その前後、そして時には近代や現代の作家の作品とも比較しつつ、社会や宗教観の変化を踏まえた表現活動の発展過程をゆっくりと見て行きます。講師は日本の美大を卒業後、イタリアのトリノとフィレンツェのアカデミア (美術学院)、そしてアメリカ・ニューヨーク最古の美術学校ザ・アート・スチューデントズ・リーグで学んだことから、例えばマンハッタンに響き渡るサイレンの音を聞きながらメトロポリン・ミュージアムの壁に掛かる中世・ルネサンス絵画を観る様な感覚と、あるいはフィレンツェ郊外の自分以外誰も居ないコレクションのなかで、ルネサンス期の清楚な女性を模った陶器のレリーフと二人きりになる様な感覚を皆さんに紹介します。イタリア美術を内側からと外側から、時間を飛び越えて、その魅力に触れましょう。随時、中世のキリスト教絵画や彫刻へと入る前に、比較出来る様、講師が用意した近代や現代の作家と作品も取り上げ、あわせてイタリア文化についても紹介して行きます。A presto!

◆講座内容

- 第1回 ビザンチン、ロマネスク、ゴシック、そしてチマブーエとジョット (プロト・ルネサンス)
 - 第2回 ドッチオからスイモーネ・マルティナーニ (シエナ派・国際ゴシック様式について)
 - 第3回 ブルネッレスキとギベルティ、ドナテッロとマザッチオ (初期ルネサンス)
 - 第4回 ロッピア兄弟、パオロ・ウッチェーロ、フラ・アンジェリコとフィリッポ・リッピなど
 - 第5回 ピエーロ・デッラ・フランチェスカ、アンドレア・デル・カスターニョ、ジョバンニ・ベッリーニ (それぞれの表現方法)
 - 第6回 サンドロ・ボッティッチェリ (フィレンツェの栄枯盛衰)
 - 第7回 ヴェロッキオとギルランダーイオ (当時のフィレンツェ市民の好みに応える大工房の仕事)
 - 第8回 レオナルド・ダ・ヴィンチ (盛期ルネサンス・三巨匠の時代・職人からアーティストへ)
 - 第9回 ミケランジェロ・ブオナローティ (様式の変化、マニエリスムの予兆)
 - 第10回 ラファエッロ・サンツィオ (古典主義の確立)
- などを予定しており、この授業は週に一度、素晴らしい作品たちと過ごし、それについて感想を述べたり、質問したりする時間となります。そして将来、ウフィツィ美術館、アカデミア美術館、システーナ礼拝堂などを訪れる際の予備知識と成る事を目指します。

◆自己紹介

この作品は、私がNYの美術学校で描きました。頭頂部の形が真っ平なのは、紙がクリップで留められ、巻き上げられていたからです。クラスの先生は、もうイタリア語を話せないイタリア系アメリカ人の方で、フィレンツェのアカデミアから直に来て、イタリア人風の英語を話す私にとっても親しみを持ってくれました。この学校は、大戦中までアメリカの画壇の第一線で活躍した国吉康雄氏が教えていた所であり当時、彼は敵性国民として強制収容所へと送られるところでしたが、他の教員たちがそれに反対し、彼を守り切ったと言う逸話が残っています。そして学生たちが働く食堂では、画家アンリ・マティスの元モデルだったと言う、エレガントな老婦人が客として来ていました。又、「刑事コロンボ」の役者ピーター・フォークもふらりとデッサンしに来る所でした。そして何より20世紀を代表する女性画家ジョージア・オキーフが、アート・スチューデントズ・リーグ派の一員として活躍していたことも誇らしいです。私は午後からのドロイングクラスへと通う前に毎回、午前中はメトロポリタン美術館へ行き、黄金比など計算の行き届いた古代ギリシア彫刻の良さと、逆に自然発生的なエネルギーに満ちたアフリカなどのプリミティブ・アートの良さを理解するよう努めていました。すると何かこの世界、この時代とコミットしているような気がして、幸せに通学していました。

ネム船長の哲学塾 「ありのまま」で本当に大丈夫なのか？

C6・金曜5限

根無 一信 (10回)

教材：教科書は使わない

①5/8、②5/15、③5/22、④5/29、⑤6/5、⑥6/12、⑦6/19、⑧6/26、⑨7/3、⑩7/10 (予備日：7/17)

◆講師プロフィール

根無 一信 (ネム カズノブ)
京都大学博士 (人間・環境学)
名古屋外国語大学 現代国際学部
国際教養学科 准教授
哲学・宗教学・倫理学



◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

「ありのままに生きよう」や「ありのままのあなたでいい」という言葉をよく耳にする。しかし、本当に「ありのまま」でいいのだろうか。むしろ「ありのまま」ではマズいのではないかと問うことも可能であろう。実は「ありのままでもいいかどうか」という問題は洋の東西を問わず、古代からずっと哲学の中心テーマの一つであり続けてきた。本講義では東西の大哲学者たちの思想を用いて、「『ありのまま』で本当に大丈夫なのか」という問題を様々な角度から吟味したい。

◆講座内容

この講座の前半では東洋の哲学者を、後半では西洋の哲学者を主にとりあげる。それぞれ、「ありのまま」に対してどのような態度をとるだろうか。

●第1回 問題の概観：「ありのまま」という問題意識が哲学の歴史の中でどのような重さを持ち、どのように扱われてきたのかということ概観する。

●第2回 東洋の思想①：どうすれば幸せに生きられるか？ (道家 VS 儒家)

●第3回 東洋の思想②：「無為自然」とは何か？ (小説家中島敦の『名人伝』)

●第4回 東洋の思想③：「本当の私」とは何か？ (仏教の創始者ゴータマ・ブッダ)

●第5回 東洋の思想④：「自分探し」が常に無駄に終わるのはなぜか？ (禅仏教の『十牛図』)

●第6回 東洋の思想⑤：『十牛図』を通して観る映画「天空の城ラピュタ」

●第7回 西洋の思想①：自由とはそもそも何なのか？ (デカルト VS ライブニッツ VS カント VS シェリング)

●第8回 西洋の思想②：自由であり続けることがしんどいのはなぜか？ (サルトル)

●第9回 西洋の思想③：どうすれば平和になるか？ (ホッブズ VS ルソー)

●第10回 西洋の思想④：何が善なのか？ (キリスト教 VS ニーチェ VS イエス)

◆自己紹介

1979年大阪生まれ大阪育ち。高校卒業後、無人島生活や八重山諸島放浪 (18歳)、インド放浪 (19歳) などを経て、徒歩と野宿で日本縦断 (20歳)。その後、独学して京都大学へ進み、哲学研究者を志す (24歳)。2016年に哲学研究で博士号取得。特技は素潜り漁、サッカー、循環呼吸。趣味はキントレ、三線演奏、ハードロックとブルース鑑賞、料理 (根無家の炊事担当)。



タイ語 入門

L1・月曜6限

寺田 ダラポン (10回)

教材：参考書（購入必須ではない）中山玲子「入門タイ語の教科書」語研 ISBN: 978-4-87615-387-9 2970円（税込）

①5/11、②5/18、③5/25、④6/1、⑤6/8、⑥6/15、⑦6/22、⑧6/29、⑨7/6、⑩7/13（予備日：未定）

◆講師プロフィール

寺田 ダラポン（テラダ ダラポン）
 三重大学 修士（教育・数学）
 名古屋大学 博士論文（研究生、教育・数学）
 愛知大学（タイ語・非常講師）
 名古屋外国語大学（タイ語・非常講師）
 教育・数学



◆講座内容

- 第1回 私はチェンマイへ行きます。
- 第2回 これは私の時計ではありません。
- 第3回 もうご飯を食べましたか
- 第4回 私はさらに何日かバンコクにいます。
- 第5回 昼休みは正午から12時45分までです。
- 第6回 私の友達は日本語を話すことが少しできます。
- 第7回 私は車を運転したくありません。
- 第8回 タイのほうが日本より暑いです。
- 第9回 タイ語とラオス語は似ています。
- 第10回 来週、試験があると聞きました。

◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

初めてタイ語を学ばれる方、もう一度基礎文法から復習をされた方を対象にしたクラスです。分かりやすい教材を使って、ゆっくりと丁寧に文法を説明していきます。毎回文法を説明した後で会話練習を行います。声に出して、耳で聴いて、繰り返し言って、書いて、覚えて使ってみてください。たくさんのタイ語に触れることで、楽しく実践的にタイ語を学びましょう。タイ語検定試験5級、4級を合格ができるように指導します。

◆自己紹介

タイの大学（教育・数学）を卒業し、5年間 The University of The Philippines (Diliman) に留学、その時 America Airforce にタイ語の講師を務めました。33年前（1993年）に、日本へ来ました。2001年から三重県、2025年から愛知県、法律・タイ語通訳人に務めています。

中国語 入門 (1)

L2・月曜6限

周素芬 (10回)

教材：教科書（購入必須） 智能汉语 スマートチャイニーズ 入門編 ISBN: 978-4-255-45419-1 2750円（税込）

①5/11、②5/18、③5/25、④6/1、⑤6/8、⑥6/15、⑦6/22、⑧6/29、⑨7/6、⑩7/13（予備日：7/27）

◆講師プロフィール

周素芬（シュウ・ソウフン）
 名古屋学院大学大学院経済経営政策専攻修士
 名古屋外国語大学中国語講師
 中国語（通訳）

◆講座内容

- 第1回 第1課 発音の練習（母音、子音）
- 第2回 第1課 発音の練習（複母音、鼻母音）文法のポイント（人称代名詞）
- 第3回 第2課 発音の練習 文法のポイント（「これ、それ、あれ」の言い方、疑問詞）
- 第4回 第2課 発音の練習 本文の朗読、練習問題
- 第5回 第3課 発音の練習 文法のポイント 形容詞
- 第6回 第3課 本文の朗読、練習問題
- 第7回 第4課 文法のポイント 名詞述語文
- 第8回 第4課 本文の朗読、練習問題
- 第9回 第5課 文法のポイント 反復疑問文
- 第10回 第5課 本文の朗読、練習問題

◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

授業では教科書の本文や例文を積極的に声に出し、単語表現を覚えることができなく、自然に口をついて出てくるまで繰り返し練習します。目標として、少しずつ自分の言葉として使えるように。

洋楽ヒットソングで楽しく学ぶリスニング・英文解釈・英語圏文化

L3・月曜6限

橋尾 晋平 (10回)

教材：教科書は使わない

①5/11、②5/18、③5/25、④6/1、⑤6/8、⑥6/15、⑦6/22、⑧6/29、⑨7/6、⑩7/13 (予備日：7/27)

◆講師プロフィール

橋尾 晋平 (ハシオ シンペイ)
同志社大学博士 (文化情報学)
名古屋外国語大学外国語学部英米語学科講師 (2026年4月段階)
英語教育、応用言語学、コミュニケーション学

◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

Taylor Swift、Bruno Mars、Ed Sheeran など世界的に人気のアーティストの楽曲の一部を教材として、全10回の授業を実施します。本講座では以下の3点を到達目標とします。

- (1) 歌詞の一部を聴き取りながら、英語の発音・アクセント・イントネーションを学び、リスニング力を向上させます。
- (2) 歌詞の解釈に取り組み、英文解釈のスキルを高めます。
- (3) 歌詞の背景を学び、英語圏の文化に関する知識を広げます。

◆講座内容

- 第1回 ガイダンス・イントロダクション
- 第2回 The Lazy Song (Bruno Mars)
- 第3回 Treasure (Bruno Mars)
- 第4回 Marry You (Bruno Mars)
- 第5回 Photograph (Ed Sheeran)
- 第6回 Thinking Out Loud (Ed Sheeran)
- 第7回 We Are Never Ever Getting Back Together (Taylor Swift)
- 第8回 Black Space (Taylor Swift)
- 第9回 I Knew You Were Trouble (Taylor Swift)
- 第10回 授業のまとめ

◆英語講座の対象レベル

主に初級～中級レベルの方を対象とすることを想定しています (上級レベルの方の受講も大歓迎です)。英検準二級～準一級の取得者や TOEIC® L&R の400～750点取得者と比較的幅広く対応させていただきます。

◆自己紹介

洋楽を通じたアクティビティが皆さんの英語学習におけるよい「きっかけ」「気づき」になるように担当者として努力を惜みません。これから英語を学びたい人、もっと英語の力を伸ばしたい人はぜひ一緒に学びましょう！

TOEIC® L&R 750点突破対策

L4・火曜5限

矢津 裕子 (10回)

教材：教科書 (購入必須) 公式 TOEIC® Listening & Reading 問題集 12 ISBN: 978-4906033775 3630円 (税込)
受験したことがある方は過去の結果を初回授業に持参ください。

①5/12、②5/19、③5/26、④6/2、⑤6/9、⑥6/16、⑦6/23、⑧6/30、⑨7/7、⑩7/14 (予備日：未定)

◆講師プロフィール

矢津 裕子 (ヤヅ ユウコ)
甲南女子大学 英文学学士
カリフォルニア大学アーバイン校 TESOL 修了
名古屋外国語大学講師
中京大学講師
その他複数、専門学校、企業研修講師
英語資格試験対策・英会話講師
ビジネス通訳、通訳ガイド

◆授業の使用言語

英語、日本語

◆講座の趣旨・目標

就職活動の武器であり、多くの企業が昇格条件とする TOEIC® L&R のスコアアップを目指します。最新の傾向を知ることができると同時に、各パートごとの対策は勿論、各パートの中の頻出問題の種類ごとの対策に取り組むため、試験の特徴や傾向、攻略法をたくさん学ぶことができ、大幅スコアアップも目指せます。

TOEIC® L&R に出てくる表現は英語を使うビジネスピープルの実際の表現ばかり。アウトットトレーニングを行い、リスニング力、スピーキング力も鍛え、仕事や海外旅行でそのまま使えるようになることを目指します。

◆講座内容

- 第1回 オリエンテーション 過去の結果分析
- 第2回 Part 1
- 第3回 Part 2
- 第4回 Part 5
- 第5回 Part 5
- 第6回 Part 6
- 第7回 Part 3
- 第8回 Part 4
- 第9回 Part 7
- 第10回 全パートおさらい

◆英語講座の対象レベル

TOEIC® L&R 現在のスコアが400点以上が望ましい
TOEIC® L&R を受けたことがない場合は英検2級程度が望ましい



韓国語 入門1

L5・火曜6限

李惠敏 (10回)

教材：教科書は使わない

①5/12、②5/19、③5/26、④6/2、⑤6/9、⑥6/16、⑦6/23、⑧6/30、⑨7/7、⑩7/14 (予備日：7/21)

◆講師プロフィール

李惠敏 (リ ヘミン)
名古屋大学文学修士
名古屋外国語大学非常勤講師
韓国語教授法

◆授業の使用言語

日本語と韓国語

◆講座の趣旨・目標

韓国語を初めて学ぶ受講生を対象に、基本的な文法や語彙の学習、初歩的な学習を通じ韓国語圏の文化や理解力を高める。授業を通じて、韓国語の基礎の勉強を経て正しい発音を身に付けて文字を読み書きできるようになるとともに、文法と会話の基礎を習得することを目指す。

◆講座内容

- 第1回 文字と発音(母音と子音) / ~です (1) (名詞文平叙文) / ~ではありません (1) (名詞文疑問文) / 基本的な助詞 (1)
- 第2回 文字と発音(バッチム) / ~です (2) (名詞文平叙文) / ~ではありません (2) (名詞文疑問文) / 数詞関連 / 日本語のハングル表記法
- 第3回 発音のルール / 接続表現 / 感嘆表現 / 丁寧な名詞 / 存在文 (名詞 + 요 / 이요) / 確認形表現
- 第4回 해요体 (1) (現在・過去) うちとけた丁寧な表現 / 存在表現
- 第5回 해요体 (2) (現在・過去) うちとけた丁寧な表現
- 第6回 「- 합니다」 ~です・ます体のかしこまった表現 (現在・過去)
- 第7回 「한다」 ~である体 (現在・過去) 下称形の表現 / 短い否定文 (1) / 長い否定文 (1)
- 第8回 動詞 文短い不能表現 / 動詞文長い不能表現
- 第9回 自己紹介の表現 / ~と申します / ~と言います / 疑問詞 / 人称代名詞 / 指示詞 / 数詞の使い方
- 第10回 願望表現 (希望表現) / 意志・推量表現 / 趣味 (好み) の表現 / 約束表現 / 予定表現 / 可能表現

フランス語 入門1

L6・火曜6限

ジェローム・パク (10回)

教材：教科書(購入必須) 『バザパ：話せて書けるフランス語入門』 三修社 ISBN: 978-4384220537 2750円 (税込)

①5/12、②5/19、③5/26、④6/2、⑤6/9、⑥6/16、⑦6/23、⑧6/30、⑨7/7、⑩7/14 (予備日：未定)

◆講師プロフィール

Jérôme Paccoud (ジェローム・パク)
アンジェ大学 (言語教授法修士)
名古屋外国語大学准教授
フランス語教育学



◆授業の使用言語

その他：日本語、英語、フランス語

◆講座の趣旨・目標

この講座は全くの初心者を対象としています。講座の目的はフランス語の基礎力を身につけること。そしてフランス語のネイティブと話す際に必要な文化に関する事柄を学ぶことです。

◆講座内容

- 第1回 (0課)：フランス語と出会う
- 第2回 (0課)：最初の単語 (「これは何ですか?」)
- 第3回 (1課)：自己紹介 (-er 動詞)
- 第4回 (1課)：国籍と職業を尋ねる (avoir と être)
- 第5回 (2課)：私的なことを尋ねる (疑問詞)
- 第6回 (2課)：質問ができるようになる / 否定で答えられるようになる (否定辞、否定形容詞、不定)
- 第7回 (3課)：自分について語る (動詞 faire)
- 第8回 (3課)：習慣について質問し、答えられるようになる (疑問形)
- 第9回 (4課)：対象を描写する (jouer と faire)
- 第10回 (4課)：活動と娯楽を語る (指示形容詞)

◆自己紹介

私はフランス・グルノーブルの出身です。春期に続いてフランス語を楽しく学ぶ講座です。春期を受講した人でなくても、どこかでフランス語を少しやったことがあり、教科書の6課からついていける人なら大歓迎です。昔フランス語をやって、忘れてしまった人も、この講座でなら楽しくフランス語を勉強できます。

少し学ばれた方のイタリア語 初中級

L7・火曜6限

アナスタージャ・ブンドック (10回)

教材：教科書（購入必須）オペラ・プリマ2 ISBN: 978-4-255-55320-7 2860円（税込）
事前に丸善、Amazon等で各自、御購入下さい。必要とされるもの：筆記用具

①5/12、②5/19、③5/26、④6/2、⑤6/9、⑥6/16、⑦6/23、⑧6/30、⑨7/7、⑩7/14（予備日：7/21）

◆講師プロフィール

Anastazija VUNDUK

(アナスタージャ・ブンドック)

イタリア国立フィレンツェ美術学院（アカデミア）絵画科、Irene di Spilimbergo 卒イタリア政府より伝統工芸モザイク画技法のプロ資格を取得後、イタリアを代表するモザイク作家 Giulio Candussio 師に師事し、NYの地下鉄駅グラウンド・ゼロ内に設置されたモザイク壁画等の制作に参加する。

名古屋外国語大学、愛知県立明和高等学校音楽科、南山エクステンション・カレッジ、星城大学オープン・カレッジに於いてイタリア語講師、中日文化センター栄教室に於いてクロアチア語講師

イタリア語、クロアチア語、イタリア伝統工芸モザイク画技法



◆授業の使用言語

イタリア語と日本語

◆講座の趣旨・目標

Ciao! 本校、学部生の会話クラスで使用する教材は、イタリア語と文化の普及を目的とするイタリアの政府機関であるイタリア文化会館の編集によるものであり、挿絵や写真、付属の映像もとても美しい教科書です。それを基に今期は、これまでの文法事項の復習も行いつつ、間接補語（誰々に、誰々にとって）+ 非人称動詞の用法、そして間接補語と直接補語（誰々を）の使い分けとして、よくイタリア語検定試験にも出題される、共に「電話する」という意味となる間接補語 + 動詞 telefonare (to telephone) と直接補語 + 動詞 chiamare (to call) についてを理解します。そしてイタリアの20世紀を代表するアーティストとして、未来派のボッチョーニや形而上絵画のデ・キリコなどの紹介の後、我々、君達・あなた方、彼ら・彼女たちの間に於ける「お互い〜し合う」という意味の再帰動詞の複数の用法を学びます。「君は、何をしている最中?」「夏に外出する時は、何を?」等の会話演習も行い、ゆっくりと楽しく基礎文法事項を、文化の紹介も交えながら学びます。今期で4回目の継続講座ですが、今期から学ばれる方も大歓迎です!一緒に楽しく学びましょう!又、学部生の方々の学び直しにもどうぞ、御活用下さい。A presto!

◆講座内容

毎回、基礎文法事項の分かり易い解説を基に、その応用会話と、練習問題を通して身に付けて行きます。

- 第1回 第3課「君、その事を知ってる?」の復習として練習問題を終わらせる。
 - 第2回 第4課「君に電話するね!」映画館、劇場、芸術、建築、音楽、ダンス、スポーツに於ける用語
 - 第3回 「私は現代アートが好き」間接補語+非人称動詞 piacere (〜が好き)の用法
 - 第4回 間接補語（誰々に〜）の非強勢形と強勢形について
 - 第5回 間接補語と直接補語（誰々を〜）の使い分け
 - 第6回 動詞 stare+ジェルンディオ -ando,-endo (〜している最中)について
 - 第7回 美術館へ行くをテーマに、「最初に」「〜の後」「後で」「最後に、結局」の用法
 - 第8回 相互的に（何々し合ってる）の意味で使われる再帰動詞の複数について
 - 第9回 イタリアの代表的な広場の紹介
 - 第10回 まとめ
- 以上を予定しておりますが、ゆっくりと丁寧に授業を進めます。

◆自己紹介

第二次世界大戦終了まではイタリア王国、次にユーゴスラヴィア、そして現在ではクロアチア共和国領である、イストリア半島先端の町、プーラに在る私の実家の窓からは、世界で4番目に大きい古代ローマの円形競技場（アリーナ）が見えます。それは唯一、海に面していること（真っ青なアドリア海!）と、今でも大理石で覆われている、とても良いコンディションであることが自慢です。そして私の家が入っている建物の地下には、この古代の円形競技場に登場するライオンの通り道の跡が見つかりました。実際、この町では地下を掘るとすぐに古代文明の遺跡がいく層にも見つかります。それはやはり気候の良さからか、多くの文明が蓄積され、歴史からの磁場を感じさせることにつながります。夏のバカンスのシーズンには、ヨーロッパ中の人々が集まり、多くのコンサートや演劇が催され、連日その声や音楽がにぎやかに聞こえて来ます。そして時折、響き渡る透き通った教会の鐘の音と共に街全体が楽しい雰囲気にも包まれます。



英検準1級・2級対策

L8・火曜6限

矢津 裕子 (10回)

教材：教科書（購入必須）2026年度版 過去6回全問題集（旺文社） ISBN: 978-4010951064 1980円（税込）
受験したことがある方は過去の結果を初回授業に持参ください。

①5/12、②5/19、③5/26、④6/2、⑤6/9、⑥6/16、⑦6/23、⑧6/30、⑨7/7、⑩7/14（予備日：未定）

◆講師プロフィール

矢津 裕子（ヤヅ ユウコ）
甲南女子大学 英文学学士
カリフォルニア大学アーバイン校 TESOL 修了
名古屋外国語大学講師
中京大学講師
その他複数、専門学校、企業研修講師
英語資格試験対策・英会話講師
ビジネス通訳、通訳ガイド

◆授業の使用言語

英語、日本語

◆講座の趣旨・目標

いまや大学入試には唯一無二、最大の武器となり、取得しない中高生はいないと言われている実用英語技能検定。英語力アップ、自己啓発のために取得を目指す大人も少なくありません。入試や就活での活用、大学の単位認定や企業内の資格手当の基準とされる2級や準1級の合格を目指します。集団クラスで学びを得た後は各受講者のレベルとスキルに合わせ、徹底的な個人教授をしますので2つの級の合同でもご心配不要です。基本的には1次試験対策ですが、リクエストに応じ2次試験対策も扱います。毎回この講座から合格者が出ています。

◆講座内容

- 第1回 オリエンテーション（最新の傾向など）
- 第2回 Writing 意見問題①
- 第3回 Writing 意見問題②
- 第4回 Writing 要約問題①
- 第5回 Writing 要約問題②
- 第6回 Listening 第1部
- 第7回 Listening 第2部
- 第8回 Reading ①
- 第9回 Reading ②
- 第10回 全セクションおさらい

◆英語講座の対象レベル

英検準2級、準2級プラス取得者（英検を受験したことがない場合、TOEIC® L&R 450点以上が望ましい）

From Script to Self 「映画のセリフを自分の言葉に」

L9・水曜6限

今井 康貴 (10回)

教材：教科書は使わない

①5/13、②5/20、③5/27、④6/3、⑤6/10、⑥6/17、⑦6/24、⑧7/1、⑨7/8、⑩7/15（予備日：7/22）

◆講師プロフィール

今井 康貴（イマイ ヤスタカ）
京都大学修士（文学）
名古屋外国語大学講師
英語史、英語学、コーパス言語学

◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

本講座は、映画やドラマのセリフを単なる鑑賞対象ではなく、自身の表現を豊かにする「生きた教材」として活用します。ディクテーションで細部まで「聴く力」を鍛え、母語話者がよく使う構文や表現技法を学び、さらに、それらを応用した英作文を通じて、映画の言葉を「自分を語るための言葉」へと変えることを目指します。インプットからアウトプットへと繋げるトレーニングを通して、作品の世界に浸り、楽しみながら一緒に学んでいきましょう。

◆講座内容

- 毎回、様々な映画やドラマの印象的なワンシーンを題材に、以下の3ステップで授業を展開します。
1. Dictation: 作品の中で、話者が話す自然な速度の英語を繰り返し聴き、文字に起こします。音の連結や消失、リズムを体感し、一語一句を正確に捉えるリスニング力を養います。
 2. Analysis: 書き取ったセリフから、日常会話で応用性の高い「構文」や「決まり文句」を学びます。文法的な裏付けや、その表現が持つ感情的なニュアンス（丁寧、皮肉、後悔など）を深く理解し、使いこなすための土台を作ります。
 3. Composition: 学んだ構文の「型」を活用し、単語を入れ替えて自身の経験や考えを綴る英作文を行います。作品の中の言葉を、自分の状況に合わせて変える練習を通じて、実践的な発信力を磨きます。
- ※作品選定と予習について：扱う作品は、受講生からのリクエストや担当講師の推薦に基づき決定し、授業の1週間前までにお知らせします。事前に作品全体を視聴し、あらすじや文脈を把握して参加されると、より深く授業を楽しむことができます。

◆英語講座の対象レベル

CEFR Level B1程度の知識があれば十分に楽しめると思います。

How to Say It Right: Building Rapport through English Speech Acts

L10・木曜5限

Taylor Meizlish (10回)

教材：Textbook will be provided by the teacher.

①5/7、②5/14、③5/21、④5/28、⑤6/4、⑥6/11、⑦6/18、⑧6/25、⑨7/2、⑩7/9 (予備日：未定)

◆講師プロフィール

Taylor Meizlish
(テイラー マイズリッシュ)
M.A. Linguistics, University of Oregon
EFL Lecturer
Linguistics, Pragmatics



◆授業の使用言語
英語

◆講座の趣旨・目標

This course teaches how to sound friendly, respectful, and natural in everyday English. Learners often know what they want to say but are unsure how to say it in a way that fits the relationship and situation. Through clear, step-by-step pragmatic instruction, students practice key speech acts such as introductions, small talk, requests, suggestions, refusals, apologies, thanking, and basic complaints. We focus on rapport-building strategies such as supportive openings, softeners, giving reasons, acknowledging imposition, and choosing wording based on status, social distance, and context. Each class uses realistic scenarios from daily life, school, and work so students can communicate confidently and maintain good relationships in English.

◆講座内容

Class 1: Orientation: What is rapport and how do we build it?
Class 2: Introductions to establish rapport.
Class 3: Small talk: starting and ending conversations naturally.
Class 4: Requests: asking for help politely.
Class 5: Suggestions: giving advice in a friendly way.
Class 6: Refusals: saying no while keeping rapport.
Class 7: Apologies: repairing relationships after mistakes.
Class 8: Thanking: showing appreciation naturally.
Class 9: Basic complaints: speaking up about problems politely.
Class 10: Comforting and encouraging: supporting others, plus review.

◆英語講座の対象レベル

A2-B1

◆自己紹介

My interest is in how culture affects language and how speakers manage relationships and accomplish their goals using language. This is called "Pragmatics," I have been studying and teaching this for over 10 years.

中国語 初級 (1)

L11・木曜6限

周素芬 (10回)

教材：教科書 (購入必須) 中国語への道【準中級編】浅きより深きへー ISBN: 978-4-7647-0724-5 2400円 (税込)

①5/7、②5/14、③5/21、④5/28、⑤6/4、⑥6/11、⑦6/18、⑧6/25、⑨7/2、⑩7/9 (予備日：7/16)

◆講師プロフィール

周素芬 (シュウ・ソウフン)
名古屋学院大学大学院経済経営政策専攻修士
名古屋外国語大学中国語講師
中国語 (通訳)

◆授業の使用言語
日本語

◆講座の趣旨・目標

新しい語彙や文法項目を覚えるよりも自由に操れる能力を身につけることです。どの課も会話文とそれと対をなす短文から構成されているが、特に短文は「暗誦」用に使われることを期待している。

◆講座内容

第1回 第1課 発音の復習、文法のポイント (方向補語、連動文)
第2回 第1課 実践練習、会話演習
第3回 第2課 文法のポイント (結果補語、仮定の表現)
第4回 第2課 実践練習、会話演習
第5回 第3課 文法のポイント (兼語文)
第6回 第3課 実践練習、会話演習
第7回 第4課 文法のポイント (受け身の表現)
第8回 第4課 実践練習、会話演習
第9回 第5課 文法のポイント (様態補語、比較文)
第10回 第5課 実践練習、会話演習



Understanding Identity and Inclusion in English

L12・金曜6限

藤沼 美沙 (10回)

教材：教科書は使わない

①5/8、②5/15、③5/22、④5/29、⑤6/5、⑥6/12、⑦6/19、⑧6/26、⑨7/3、⑩7/10 (予備日：未定)

◆講師プロフィール

藤沼 美沙 (フジヌマ ミサ)

Master (Higher Education), University of Mississippi

Full-Time Lecturer, Nagoya University of Foreign Studies

Intercultural Communication, Diversity, Equity, and Inclusion (DEI), Identity Development, Study Abroad



- Creating personal "next steps" for more inclusive action in one's own context.

◆英語講座の対象レベル

This course is recommended for learners from intermediate level upward, roughly CEFR B1 (TOEIC score around 500) and above. Learners with higher proficiency are also welcome.

◆自己紹介

Hello! My name is Misa. I have studied abroad myself and later supported people before and after their time overseas, so questions about identity, difference, and belonging are very close to my heart. These experiences led me to focus on intercultural communication, study abroad, and diversity, equity, and inclusion (DEI). In this course, I hope to create a warm and reflective space where participants can share experiences, discover new perspectives, and practice expressing their ideas in English together.

◆授業の使用言語

英語

◆講座の趣旨・目標

This course aims to create a welcoming space to explore questions like "Who am I?" and "How can we treat each other fairly in everyday life?". Participants will reflect on identity, culture, and their own experiences of inclusion and exclusion in Japan and beyond. Through stories, reflection, and dialogue, the course encourages small, realistic steps toward more inclusive communication at home, at school, at work, and in the community.

◆講座内容

Classes will focus on real-life topics, using many discussions, pair work, small group tasks, and reflection activities. The exact themes may change depending on participants' interests and questions.

Topics may include:

- Understanding our many identities and how they change over time.
- Visible and invisible aspects of culture in daily life.
- Stereotypes, first impressions, and how to rethink them.
- Intercultural experiences inside Japan: school, work, clubs, online communities.
- Basics of diversity, equity, and inclusion (DEI) in Japan and other countries.
- Simple strategies for inclusive, respectful communication in conversations.

スペイン語 初中級5

L13・金曜6限

中川 智彦 (10回)

教材：教科書（購入必須）四宮瑞枝・落合佐枝『アクション！《ライト版2》ステップアップ編』（白水社）ISBN: 978-4-560-09957-5 2640円（税込）
大手書店または出版社のホームページからのネット購入がお勧めです。アプリでも、電子辞書でも、紙媒体でも、西和辞典や和西辞典を入手されることをお勧めします。

①5/8、②5/15、③5/22、④5/29、⑤6/5、⑥6/12、⑦6/19、⑧6/26、⑨7/3、⑩7/10（予備日：7/17）

◆講師プロフィール

中川 智彦（ナカガワ モトヒコ）
筑波大学修士（国際学）
名古屋外国語大学、愛知県立大学、
南山大学ほか非常勤講師
ラテンアメリカ地域研究



◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

先期から新しいテキストで再スタートした「スペイン語初中級4」の後継クラスです。これまでに現在・過去・未来、完了時制などの直説法の各時制と接続法現在まで学習経験があれば、問題なく、どなたでも受講できます。

発音に慣れていない方でも、聞き取りやすく、しかも、書き間違いを防ぐための発音練習方法を丁寧に指導しますので、すぐに、自信をつけて頂けると思います。

今期は、点過去と線過去の復習から始まりますので、過去形が完璧に覚えられていない方や、久しぶりにスペイン語を学んでみたい方も、気楽に参加できると思います。

◆講座内容

- 第1回 自己紹介+3課：応用練習〈点過去：総合練習〉
- 第2回 4課：スキットとボキャブラリー確認+線過去形、間接話法の中の線過去
- 第3回 4課：基本練習1～3（線過去）、状況補語等として繋ぐ関係詞〈[前置詞+]定冠詞+que〉と donde
- 第4回 4課：基本練習4、応用練習
- 第5回 発展練習1：4課復習とスペイン語圏の文化
- 第6回 発展練習1：「読んでみよう」「もっと学ぼう」
- 第7回 5課：スキットとボキャブラリー確認+点過去と線過去の区別
- 第8回 5課：基本練習1～2（点過去と線過去）、現在分詞、関係詞〈定冠詞+que〉の独立用法
- 第9回 5課：基本練習3～4、応用練習
- 第10回 5課復習から、ここまでの総復習：ヒアリングとロールプレイ

毎回ラテン音楽のヒアリングの時間を持つ予定。

全10回でこの範囲を学習する予定ですが、余裕を持たせてありますので、皆さんの要望に応じて、臨機応変に進めていきます。

◆自己紹介

中川智彦 Nakagawa Motohiko。南山大学外国語学部イスパニヤ科出身。筑波大学大学院在学中に、チリ大学国際問題研究所へ特別交換プログラムで約10か月間留学経験あり。現在は、名古屋外国語大学のほか、愛知県立大学・南山大学などで非常勤講師の傍ら、在米エルサルバドル系移民に関する共同研究参加中。少林寺拳法四段。スペイン語にまつわる趣味としては、サルサ等ラテン音楽鑑賞。



始めたばかりのイタリア語 初級

L14・金曜6限

アナスタージャ・ブンドック (10回)

教材：教科書（購入必須）オペラ・プリマ1 ISBN: 978-4-255-55308-5 2640円（税込）
事前に丸善、Amazon等で各自、御購入下さい。必要とされるもの：筆記用具

①5/8、②5/15、③5/22、④5/29、⑤6/5、⑥6/12、⑦6/19、⑧6/26、⑨7/3、⑩7/10（予備日：7/17）

◆講師プロフィール

Anastazija VUNDUK

(アナスタージャ・ブンドック)

イタリア国立フィレンツェ美術学院（アカデミア）絵画科、Irene di Spilimbergo 卒 イタリア政府より伝統工芸モザイク画技法のプロ資格を取得後、イタリアを代表するモザイク作家 Giulio Candussio 師に師事し、その工房に於いて NY の地下鉄駅グラウンド・ゼロ内に設置されたモザイク壁画等の制作に参加する。

名古屋外国語大学、愛知県立明和高等学校音楽科、南山エクステンション・カレッジ、星城大学オープン・カレッジに於いてイタリア語講師、中日文化センター栄教室に於いてクロアチア語講師

イタリア語、クロアチア語、イタリア伝統工芸モザイク画技法



◆授業の使用言語

イタリア語と日本語

◆講座の趣旨・目標

Buongiorno! イタリア語を基礎から学ばれたい方が対象の令和6年の春にスタートした、今期で5回目の継続クラスです。これまでに学んだ文法事項の復習も随時行い、今期は、これまで使用して来た教科書「ボナペティート」のわずかに残ったページを消化し、この教科書を使い切ります。（その為、新規受講生の方にはコピーを配布しますので、購入される必要は御座いません）その内容から、日常生活に於いてよく使われる再帰動詞とは、再帰代名詞 mi, ti, si, ci, vi, si を伴い動作主の行為が自身に向けて行われるものであり、目覚める、服を着る、化粧するなどが挙げられます。そして初めて学んだ複合時制（助動詞 essere もしくは avere + 過去分詞 -ato, -uto, -ito）で構成される近過去形（現在の生活に関わる、完了した過去の動作）の復習を行いつつ、先述の再帰動詞の近過去形も学びます。その助動詞は必ず essere であり、すると過去分詞の語尾は主語の性と数に合わせて変化する事がポイントとなります。次に状況、状態を言ったり、かつて習慣的、継続的に繰り返された過去の動作を言う半過去形を学びます。例えば「君を愛していたよ」「君に言いたかったよ」など実際、イタリア語会話に於いて、近過去形と共に、絶対に必要となる文法事項です。一例として存在文 esserci では、現在形では c'è（何々が在る、誰々が居る）、近過去形は c'è stato/stata（何々が在った、誰々が居た事がある）、半過去形は c'era（何々がずっと在ったものです、誰々がしばらく居たものです）となります。そしてこの教科書「ボナペティート」を使い終えた後、今度はイタリア政府機関編集であり、本校の学部生が初級・会話クラスの教科書として使う教材「オペラ・プリマ1」（全員、要購入）を基に、ゆっくりと楽しくイタリア語をゼロから、これまでとは違うアプローチで学び直します。このクラスは継続クラスですが、今期から通われる方も大歓迎です！又、学部生の方々の学び直しにも最適です。一緒に楽しく学びましょう！ A presto!

◆講座内容

毎回、基礎文法事項の分かり易い解説から始まり、その応用会話、練習問題を通して身に付けていきます。

第1回 昨年度まで使用していた教科書「ボナペティート」第11課「電車は遅れて着きました」の練習問題から再帰動詞の近過去として助動詞は、essere のみである事 + 主語に合わせて過去分詞が語尾変化をする事を学び、次に最終課である第12課「とても素晴らしかった！」から状況を言う半過去形と存在文 esserci の半過去形を学び、この教科書を使い終えます。新規受講者の方には、コピーを配布しますので、この教科書「ボナペティート」の購入は不要です。

第2回 まとめ

第3回 新規の教科書「オペラ・プリマ1」（全員、要購入）の第1課「どうぞ、よろしく！」から挨拶の言い方とイタリアの紹介、アルファベットと発音についてを学びます。

第4回 「私はナポリの出身です」「私はローマに住んでいます」自己紹介、数詞について

第5回 「どう？元気？」親しい仲でのカジュアルな言い方と礼儀正しいフォーマルな言い方について

第6回 「あなたのお名前は？」イタリアン・スタイル、アリア航空の紹介

第7回 チャットでのやり取り、イタリアの観光地について

第8回 「私は～が食べたい」「私は～が見たい」等の願望を言う

第9回 練習問題

第10回 まとめ

以上を予定しておりますが、ゆっくりと丁寧に授業を進めます。

◆自己紹介

Ciao! 私はフィレンツェ・アカデミアの絵画科で学んでいた時、次は直接、色自身を手に取り制作出来たらと思い、モザイク画技法も学びました。そして、イタリアを代表するマエストロ Giulio Candussio 氏に師事し、その工房に於いて修行しました。日本に来てからは、いくつかの小品の制作と同時に、名古屋市東区白壁にある名古屋文化学園・文化幼稚園の正面入り口に「出会いと旅立ち、そしてまた新たな出会い」をテーマとする、画面に出入りする四頭の馬をモチーフにしたモザイクの壁画を制作しました。近年では、JA 愛知厚生連・稲沢厚生病院の中庭に、空に昇る大きな葉っぱの形をイメージした4体のモニュメント「アドリア海」「星座」「火山」「麦」を制作しました。当病院のホームページからも、それをご覧になれます。古代ローマ時代には、食卓用の大きな木のテーブルの下には、様々な高級食材の食べこぼしとそれを食べるネズミをモチーフにしたモザイク画が描かれていました。それを見た客人は、その家の豊かさをそこで推し量ったと言われます。Che divertente!

タイ語 初級・中級

L15・土曜2限

寺田 ダラポン (10回)

教材：参考書（購入必須ではない）三上直光「タイ語の基礎」白水社 ISBN: 978-4-560-09940-7 3520円（税込）

①5/9、②5/16、③5/23、④5/30、⑤6/6、⑥6/13、⑦6/20、⑧6/27、⑨7/4、⑩7/11（予備日：未定）

◆講師プロフィール

寺田 ダラポン（テラダ ダラポン）
三重大学 修士（教育・数学）
名古屋大学 博士論文（研究生、教育・数学）
愛知大学（タイ語・非常講師）
名古屋外国語大学（タイ語・非常講師）
教育・数学



◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

タイ語で自分の気持ちを伝えられるようになることを目指す授業です。タイの小学校で使用されている教科書を用いて、タイ文字の読み書きを基礎から学び、読むことに自信を持てるようになります。

ネイティブ講師が、文法を中心に語彙や発音を丁寧に指導し、スムーズに日常会話を身につけられる内容です。タイ語検定試験3級の合格を目標に指導を行います。

◆講座内容

- 第1回 この部屋にはいすが3脚あります。
- 第2回 今年の試験の結果と前の年のとは同じくらいよい。
- 第3回 日本の人口はタイの人口より2倍多い。
- 第4回 明日私は運転免許証が手に入ります。
- 第5回 彼は両親に手紙を書いているところです。
- 第6回 土・日は勉強しなくてもかまいません。
- 第7回 彼女のタイ語の発音はとてもいい。彼女は外国人ではないだろう。
- 第8回 この濃い青色のスーツは彼によく似合う。
- 第9回 昨夜は寝不足だったので、今日は眠い。
- 第10回 昼食、私はパンかラーメンを食べることにします。

◆自己紹介

タイの大学（教育・数学）を卒業し、5年間 The University of The Philippines (Diliman) に留学、その時 America Airforce にタイ語の講師を務めました。33年前（1993年）に、日本へ来ました。2001年から三重県、2025年から愛知県、法律・タイ語通訳人に務めています。



ポルトガル語への第一歩：ブラジル文化をことばで感じる

L16・土曜2限

Patrícia Dias Hadama (10回)

教材：教科書は使わない

①5/9、②5/16、③5/23、④5/30、⑤6/6、⑥6/13、⑦6/20、⑧6/27、⑨7/4、⑩7/11 (予備日：未定)

◆講師プロフィール



Patrícia Dias Hadama
 (ジアス・ハダマ・パトリシア)
 【学位】修士 (ポルトガル語研究)
 専攻：ポルトガル語研究
 機関：ポルトガル公開大学
 (Universidade Aberta de Portugal, UAb)
 所在地：ポルトガル
 【学位】学士 (ポルトガル語・英語教育)
 専攻：ポルトガル語・英語教員養成課程
 機関：パウリスタ大学 (Universidade Paulista)
 所在地：ブラジル・サンパウロ
 【大学院専門課程】大学教員養成
 専攻：大学教員養成・高等教育教授法
 機関：パウリスタ大学 (Universidade Paulista)
 所在地：ブラジル・サンパウロ
 【大学院専門課程】ブラジル文化・文学
 専攻：ブラジル文化・文学研究
 機関：ラバ教育大学 (Universidade de Educação de Lapa)
 所在地：ブラジル・リオデジャネイロ
 【大学院専門課程】ポルトガル語教授法
 専攻：ポルトガル語教授法
 機関：ラバ教育大学 (Universidade de Educação de Lapa)
 所在地：ブラジル・リオデジャネイロ

南山大学 非常勤講師
 中部大学 非常勤講師
 名古屋外国語大学 非常勤講師
 愛知県立大学 非常勤講師
 パウリスタ大学 指導員

ブラジル・ポルトガル語、ブラジル文化、
 ブラジル文学、ブラジル・ポルトガル語
 教育の方法論

◆授業の使用言語
 日本語／英語／ポルトガル語

◆講座の趣旨・目標
 ブラジル・ポルトガル語を初めて学ぶ方
 も、基礎をお持ちの方も、それぞれのレ
 ベルに合わせて楽しく学べる講座です。

発音、あいさつ、日常表現などを、対話
 を中心とした実践的な方法でわかりやす
 く習得していきます。明るく心地よい雰
 囲気の中で、ブラジルの言語と文化に触
 れながら学びを深めましょう。

◆講座内容

第1回
 【文化的知識】
 ・ブラジル概論
 ・ブラジルの歴史的形成 (先住民、植民地
 化、アフリカ系・ヨーロッパ系の影響)
 ・ブラジル文化の全体像
 【言語学習内容】
 ・基本的なあいさつ表現
 ・簡単な自己紹介
 ・動詞 ser (直説法現在)
 ※ポルトガル語における「～です」に相当
 第2回
 【文化的知識】
 ・ブラジルの地理
 ・各地域の特徴
 ・多文化国家としてのブラジル
 【言語学習内容】
 ・動詞 ser (復習・定着)
 ・名詞の性と数
 (男性名詞／女性名詞、単数／複数)
 第3回
 【文化的知識】
 ・カーニバルとは何か
 ・カーニバルの歴史的背景
 【言語学習内容】
 ・名詞の性・数の復習
 ・名詞と形容詞の基本的な一致
 ・祭りに関する基礎語彙
 第4回
 【文化的知識】
 ・地域ごとの伝統的な祭り
 ・音楽、衣装、慣習
 【言語学習内容】
 ・指示詞 este / esse / aquele
 ・日本語の「これ／それ／あれ」との対照
 ・文脈に応じた使い分け
 第5回
 【文化的知識】
 ・ブラジル音楽の概要
 ・主なリズム (サンバ、ボサノヴァ、MPB 等)
 ・代表的アーティスト
 【言語学習内容】
 ・所有表現
 ・所有代名詞 (meu, minha, seu, sua など)
 ・所有構文の基本
 第6回
 【文化的知識】
 ・ブラジル映画の発展
 ・代表的作品と監督

・国際的評価
 【言語学習内容】
 ・形容詞の用法
 ・語順
 ・名詞との一致
 第7回
 【文化的知識】
 ・ブラジル文学
 ・著名な作家
 ・文学表現の特徴
 【言語学習内容】
 ・直説法現在
 — 規則動詞
 — 主な不規則動詞
 ・日常行動を表す基本表現
 第8回
 【文化的知識】
 ・文学と芸術の続き
 ・社会・歴史との関係
 【言語学習内容】
 ・前置詞 a / em / de / para
 ・場所、方向、起点の表し方
 ・基本的な前置詞構文
 第9回
 ・ブラジルのスポーツ文化
 — サッカー
 — カボエイラ
 — ブラジリアン柔術
 ・スポーツと観光、国民的アイデンティティ
 【言語学習内容】
 ・過去表現
 — pretérito perfeito
 — pretérito imperfeito
 ・両時制の意味と使い分け
 第10回
 【文化的知識】
 ・国際社会におけるブラジルのイメージ
 ・文化・観光・スポーツの総合的理解
 【言語学習内容】
 ・未来表現
 — futuro do presente
 — futuro do pretérito
 ・全内容の総復習
 ・ブラジル文化をテーマにした簡単な口
 頭活動

◆自己紹介
 ブラジル・リオデジャネイロ出身です。
 専門分野は、ポルトガル語、ブラジル文
 化、ブラジル文学です。
 大学では、ポルトガル語と言語文化を、
 楽しく分かりやすい授業となるよう工夫
 しながら教えています。
 学生一人ひとりの興味や学習目的に寄り
 添い、より深く学べる環境づくりを大切
 にしています。

読んで学ぶロシアのことばと文化—身近な話題を「ロシア語の記事」からやさしくひもとこう—

L17・土曜2限

杉山 真央 (10回)

教材：教科書は使わない

①5/9、②5/16、③5/23、④5/30、⑤6/6、⑥6/13、⑦6/20、⑧6/27、⑨7/4、⑩7/11 (予備日：7/18)

◆講師プロフィール

杉山 真央 (スギヤマ マオ)
大阪大学 博士 (言語文化)
名古屋外国語大学 講師
詩的表現、演説・新聞における言説分析

◆授業の使用言語

日本語

◆講座の趣旨・目標

〈趣旨〉

本講座は、ロシア語が初めての方にも、学習経験のある方のレベルアップにも対応した入門講座です。ロシア語で書かれた短い記事や読みものを手がかりに、身近な話題を入口として「ことば」と「文化」をあわせて学びます。毎回テーマに沿った語彙リストを用い、キリル文字の読み方や発音にも触れながら、実際に使われる語彙・表現に親しみます。

〈目標〉

- 1) キリル文字の基本的な読み方と発音のポイントを理解し、短い文章に抵抗なく触れられるようになる。
- 2) テーマ別の基礎語彙と頻出表現を増やし、語彙の使い方 (組み合わせ・言い回し) を身につける。
- 3) 記事に含まれる出来事や背景に触れることで、ロシア語圏の文化・価値観への理解を広げる。

◆講座内容

- 第1回 導入：ロシア語の記事に触れてみよう (見出しの読み方)
- 第2回 家①：家族・親子・育児
- 第3回 家②：家・家具・家事・住まい事情
- 第4回 自然①：天気・季節・気候
- 第5回 自然②：植物・動物・自然との距離感
- 第6回 身体・装い：服装・髪型・体型・美意識
- 第7回 仕事と日常：働き方・休日・学校・子ども
- 第8回 絵画・芸術：絵画作品・展覧会紹介記事
- 第9回 感想や考えを伝えてみよう：感情表現・評価語・ロシア的言い回し
- 第10回 語彙・表現の整理と復習

Improving Intercultural Communication Skills in English

L18・土曜2限

宇治谷 映子 (10回)

教材：教科書は使わない

①5/9、②5/16、③5/23、④5/30、⑤6/6、⑥6/13、⑦6/20、⑧6/27、⑨7/4、⑩7/11 (予備日：7/18)

◆講師プロフィール

宇治谷 映子 (ウジタニ エイコ)
Doctor of Education, Murdoch University
Professor Emeritus, Nagoya University of Foreign Studies
Intercultural Communication, Language Education

◆授業の使用言語

英語

◆講座の趣旨・目標

Communication is about more than words and grammar. It is about understanding each other's ways of thinking, body language and cultural values. In this course, students will learn and practice how to communicate effectively with people from different cultural backgrounds through group discussion and other fun activities.

International students, language teachers as well as Japanese students who are interested in communicating across cultures will be welcomed. Let's learn from each other in a diverse class.

◆講座内容

- Week 1: What is Culture?
- Week 2: Who is More Japanese?
- Week 3: Stereotypes
- Week 4: Words and Meaning
- Week 5: Hand Gestures
- Week 6: Time Talks
- Week 7: Cross-Cultural Values
- Week 8: What do you see?
- Week 9: Description/ Interpretation/ Evaluation
- Week 10: Culture Shock

◆英語講座の対象レベル

Anybody who is willing to participate in group discussions in English



ウクライナ語 入門1

L19・土曜2限

テチヤナ・サイエンコ (10回)

教材：教科書（購入必須） つばさ君のウクライナ語 ISBN: 978-4-560-08872-2 3300円（税込）
<https://www.hakusuisha.co.jp/book/b508434.html> 必要とされるもの：筆記用具、ノート

①5/9、②5/16、③5/23、④5/30、⑤6/6、⑥6/13、⑦6/20、⑧6/27、⑨7/4、⑩7/11（予備日：未定）

◆講師プロフィール

Tetyana SAYENKO
 (テチヤナ・サイエンコ)
 Doctor (PhD in English Linguistics),
 Kyiv National Linguistic University, Kyiv,
 Ukraine
 Lecturer, Nanzan University, Nagoya,
 Japan
 General and English Linguistics,
 Ukrainian-English Translation, Intensive
 Methods of Teaching Ukrainian and English



◆授業の使用言語

日本語／ウクライナ語語

◆講座の趣旨・目標

本講座の主な目的は、日本語話者がウクライナ語話者と円滑にコミュニケーションを取るために必要な「読む力」と「会話力」を身につけることです。また、最低限の言語力でもウクライナ語環境にすばやく・効果的に入っていけるようサポートします。授業では、基本的に日本語ではなくウクライナ語を使って話す練習を行います。語彙・文法・発音といった言語項目については、すべて日本語での訳や解説をつけて進めます。授業では、簡単な詩やリズム・歌なども取り入れながら、自然なウクライナ語の話し方を身につけていきます。また、授業で練習した会話の音声はオンライン上に掲載され、発音の復習や自宅学習にも活用できます。この集中講座の修了時には、ウクライナ語の初歩的な「読む・書く・話す」スキルを身につけることを目指します。

◆講座内容

- 第1回 自己紹介・あいさつ／ウクライナ語アルファベット／人称代名詞
テーマ：「出会い・人とのつながり・家族」
- 第2回 肯定表現／所有代名詞／名詞の性
テーマ：「わたしの家」
- 第3回 数字／時刻と場所／動詞（現在形）
テーマ：「わたしの一日」
- 第4回 可能を表す動詞／名詞の格変化／形容詞
テーマ：「持ち物について話す」
- 第5回 動詞（現在形）
テーマ：「できること・したいこと」
- 第6回 疑問文の作り方
テーマ：「教育・旅行」
- 第7回 未来形
テーマ：「まちの中・天気」
- 第8回 名詞の格変化（復習）
テーマ：「仕事と休み」
- 第9回 形容詞の格変化
テーマ：「お祝い・メッセージカード・レストランで」
- 第10回 まとめ
テーマ：「わたしのこと・将来の計画」／復習・まとめ

◆自己紹介

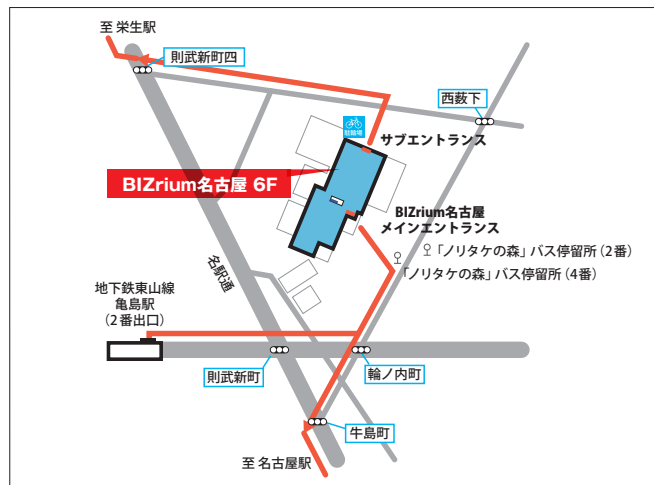
受講生の皆さん

こんにちは。テチヤナ・サイエンコです。ウクライナ出身の大学教員です。これまで長年にわたり、ウクライナのキーウ大学（タラス・シェフチェンコ記念国立大学）やキーウ国立言語大学にて、英語およびウクライナ語の講義を担当してまいりました。また、アメリカのペンシルベニア州立大学では、「初級ウクライナ語（集中講座）」および「ウクライナ語－英語翻訳」の授業も担当いたしました。

この集中講座は、外国語を学ぶ際の自信を育み、基礎をしっかり身につけるための良いスタートになります。講座修了時には、ウクライナ語の基礎的な読み書きや会話ができるようになることを目指します。

この講座を楽しんでいただけることを願っています！

イオンモール店内から名駅キャンパス（オフィスビル：BIZrium名古屋 6階）へは行けませんので、
こちらの写真にあるBIZrium名古屋のエントランスからご入館ください。



名古屋外国語大学 名駅キャンパス(サテライト) BIZrium名古屋 6F

(イオンモールNagoya Noritake Garden併設)

〒451-0051 愛知県名古屋市西区則武新町3丁目1番17号 BIZrium名古屋6F

JR 名古屋駅から徒歩12分、地下鉄東山線 亀島駅から徒歩6分

名鉄名古屋本線 栄生駅から徒歩10分

名古屋市営バス・なごや観光ルートバス(メーグル)「ノリタケの森」下車(名古屋駅バスターミナル(6番のりば)から乗車時間約4分)